**自己評価結果公表シート（令和3年度）**

令和4年３月

江別大谷幼稚園

**１．教育目標**

|  |
| --- |
| 明るく、強く、正しい子供の育成  「自然」と「いのち」に対する敬いのこころ、感謝のこころを育む事を願い、幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索・思考する過程を大切にした教育を目指す。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、少人数クラス編成を取りいれ教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指す。 |

**２．本年度、重点的に取り組む目標・計画**

|  |
| --- |
| 年間計画に沿ったカリキュラムを組み、教育課程に沿った保育を実践する。  各役職、各教員の役割を明確にし、教職員の共通理解をはかる。  教職員の園内研修の実施や園外研修への積極的参加。  特別支援教育及び子育て支援の充実を図る。  震災・火災・不審者などの危機から園児を守るための体制・マニュアルの点検と整備。  保護者のニーズの把握に努め、幼稚園が担う役割について検討する。 |

**３．評価項目及び取組み項目**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 取り組み内容 | 評価内容 | 評価 |
| 教育課程に沿った保育の実践 | 建学の精神である大谷保育の理解とその精神を年間計画や各行事を通じて理解する | 日々のお参りや、はなまつり、報恩講を通じて大谷保育の理解を深めるとともに、全家庭へ協会出版の月間冊子を配布。全員の教育課程の理解と実践。 | Ａ |
| 年間計画、カリキュラムに沿った保育の実践 | 年間カリキュラム、月間カリキュラムの作成と、見直し及び検討を行う | 学年ごとの年間計画・月案・週案などのカリキュラムを作成し各担任で話し合いながら実践。学年ごとの連携強化は図れたが、コロナによる変則的なカリキュラムとなった | Ｂ |
| 役職及び教職員の役割の明確化と教職員の共通理解 | 各々の役職と役割を明確にするとともに、全体で共有化を図り各々が責任をもってその役割を果たす。 | 全体の共有化の不足を感じ、打ち合わせ録などを整備して全体の共有化を促進した。次年度から各委員会を設置し役割意識をもって責任を果たしていくことを進める。 | Ｂ |
| 園内研修の実施、園外研修の参加 | 常に保育者としての質や技能向上のために、内部研修の充実と外部研修への積極的な参加をする（大谷研修・江私幼研修・北私幼研修・道研修など） | 外部研修については各自3回以上参加することを目標としたが、コロナで多くに機会が失われた。今後対面ではなくPCによる遠隔研修も積極的に取り入れていく事が必要 | Ａ |
| 特別支援教育（障がい児教育）及び子育支援（預かり保育、未就園児保育）の充実 | 一定数の障がい児の受け入れを行うとともに、子育てに対し不安や孤立しがちな保護者や、社会参加をする保護者支援のため、また幼稚園の環境に慣れ安心して幼稚園に入園できるように、未就園児保育の充実と預かり保育の充実に努める。 | 障がい児の受け入れと少人数クラス編成及びその中でのクラス担任２名制の充実。  週３回の未就園児教室実施。  預かり保育については、今後も充実を図るよう取り組み強化。 | Ａ |
| 災害・不審者などの危機から園児を守る体制強化とマニュアル整備。衛生管理。 | 地震・火災・水害発生時におけるマニュアルの毎年の見直し。外出時の危機マニュアルの整備見直し。日々の手洗い・うがいなどの衛生管理の徹底。 | マニュアル整備。  耐震点検チェックリスト実施。  外出時のマニュアル整備強化。  コロナなど感染症についてのマニュアル整備の必要性を強く感じた。  衛生管理徹底（手洗いうがいの実行） | Ａ |
| 保護者のニーズの確認と、今後幼稚園運営の参考にする | 園の状況及び行事などに対する父兄アンケートの実施。27年度からの見える化に伴い、方式を変更し６年目となる。 | 保護者からいただいた意見やアンケートの結果内容を開示。  園の考え方などを示しながら、改善すべきものは改善するように努めた。 | Ｂ |

**評価基準**　　Ａ＝十分達成されている　　Ｂ＝ほぼ達成されている

Ｃ＝取り組みはしているが成果が十分ではない　　Ｄ＝取り組みが不十分で成果も出ていない

**４．今後取り組むべき課題**

|  |  |
| --- | --- |
| 課　　　題 | 具体的な取組み方法 |
| 安全管理  衛生管理 | 市教育委員会や警察から、随時提供される不審者情報に対する対応。  施設面で耐震等の対応。  防災マニュアル、危機管理マニュアルの見直しと教職員の危機管理意識付けと保護者への発信。  新型コロナ感染症の発生に伴い感染症マニュアル整備や更なる衛生管理の強化。 |
| 特別支援教育 | 新しい教員の計画的な教育研修の実施。  幼児に対応した個別の指導計画の作成と充実。  市や医療・福祉の関係機関との今密な連携。  補助教員体制の充実。 |
| 園に対する保護者の満足度のアップ | 保護者からのアンケート継続とアンケート内容の精査及び点数化（見える化の継続）  ＰＴＡ役員会や保護者の会を通じての意見収集。今後も社会から求められる幼稚園を目指す。 |

**５．学校関係者の評価**

|  |
| --- |
| 年度末に行っている学校関係者（保護者）アンケートにおいて、前年度からの改善点は見られたものの多くの項目で評価点が下がった（15項目中3項目で評点アップ、その他はダウン）。保護者とのコミュニケーションを深めながらさらなる取り組みの強化を図る。 |

**６．財務状況**

|  |
| --- |
| 公認会計士監査による監査を行い適切な費用管理の実施など、適正に運営されていると認められている。 |

**【別紙保護者アンケート】**

**※評価圧アップの項目もあるが、全体的に評価が下降。コロナ対応による行事の中止や家庭保育の増加などが評価を下げる一因となったようである為、来年度に向けた対策が必要**



